

審議中

こんな質疑がありました

問 補助金申請の簡素化を

瀬尾征爾議員

Q 申請の添付書類で一例をあげると、猪電柵では「設置前写真」「所有者同意書」、水田明渠排水事業では「公図」

「事業計画」「収支予算書」など合理性がなく不要なものが多すぎる。

点検し、即見直すべきと思うが。

A 町長 事務の簡素化は絶えず研究、検討しなければならぬ。点検・見直しを徹底したい。

Q 出産育児一時金が十月より三十万円から三十五万円に増額となったが支払い

は、出産後、申請

手続きをするので

遅くなる。出産予

定日一カ月前から

申請し、保険者

(町) から医療機

関(産婦人科医院)

に直接支払い、窓

口負担は差額分の

み支払う受領委任

払い制度に早急に

改めるべきでは。

A 福祉課長

ただちに実施

とはいかないが、

その方向で進んで

いる。

問 出産育児一時金の受領委任払いを

寄定秀幸議員



美野江地区災害



神石地区老人福祉大会



油木商業集積地

問 商業集積地の売却は

松本彰夫議員

Q 商業集積地をJAに三千万円で売却する補正予算が計上されている。

本来の目的と違うが、商工会との協議は。

また、JAの油木支店を新築する予定だが、具体的な計画や着工予定は。

A 町長

合併前に商工会は出店を断念しており、異論はない。

油木支店のグリーンセンターが出店するので、商業の活性化も期待できる。具体的な計画はまだ聞いていない。

Q 県立神石三和病院は、町が受け取る

方向で、「県立神石三和病院対策協議会」の設置が予算化されている。町が受け取るのを前提でなく、まずどんな病院が必要かを議論すべきではないか。

A 町長

県立としての病院の存続は断念せざるを得ない。いつまでも町民に期待感を与えるべきでない。

方法については対策協議会に委ねる。

Q 本年度から、猪の捕獲奨励金などに充てられていた、県費補助金の報奨金百四十万円が、全額減額された。今後の対策は。

A 産業課長

県費補助の報奨金は全廃されたが、町費で、上限を百万円として対応する。来年度以降についても、県の補助は期待できず、単町費で考えざるを得ない。

問 障害者相談支援事業は

久保田龍泉議員

Q 障害者相談支援事業については、福山市へ委託される事になったが、障害者が相談する場合、本人が福山まで出向くのか。

A 福祉課長

申請があれば、福山市から本町に訪問して相談を受ける。



いづみ保育所運動会